

通常流通用抗インフルエンザウイルス薬の供給状況（10月分）について

1. 卸売業者から医療機関への供給量（10月3日～11月6日）

○ タミフル 約14.2万人分

(カプセル 約9.9万人分)

(ドライシロップ 約4.3万人分)

○ リレンザ 約5.4万人分○ ラピアクタ 約1.8万人分○ イナビル 約13.1万人分

2. メーカー・卸売業者の保有量（11月6日時点）

○ タミフル 約645万人分

(カプセル 約352万人分)

(ドライシロップ 約293万人分)

○ リレンザ 約202万人分○ ラピアクタ 約40万人分○ イナビル 約468万人分

平成28年11月30日

行政備蓄用抗インフルエンザウイルス薬の備蓄量

行政備蓄用抗インフルエンザウイルス薬については、平成28年10月末までに約5,615万人分を確保。

○ タミフル（カプセル）

国	備蓄	約1,907万人分
県	備蓄	約2,179万人分
	計	約4,086万人分

○ タミフルドライシロップ

国	備蓄	約55万人分
県	備蓄	約28万人分
	計	約83万人分

○ リレンザ

国	備蓄	約497万人分
県	備蓄	約878万人分
	計	約1,375万人分

○ イナビル

国	備蓄	0万人分
県	備蓄	0万人分
	計	0万人分

○ ラピアクタ

国	備蓄	約55万人分
県	備蓄	約16万人分
	計	約71万人分

※ 都道府県別の内訳は別紙参照

(別紙)

都道府県別の抗インフルエンザウイルス薬備蓄状況一覧 (H28年10月末時点)

備蓄量(千人分)

No.	都道府県名	タミフル (カプセル)	タミフル ドライシロップ	リレンザ	イナビル	ラピアクタ
1	北海道	1,031.7		229.1		
2	青森県	199.4		57.9		
3	岩手県	194.1	5.6	55.1		9.8
4	宮城県	341.0		96.4		
5	秋田県	204.5		45.4		
6	山形県	169.5		48.5		
7	福島県	311.3	8.5	83.3		
8	茨城県	549.3		123.9		
9	栃木県	351.4	8.6	83.2		
10	群馬県	374.6		52.1		
11	埼玉県	1,339.0		299.2		
12	千葉県	895.3	26.8	257.2		46.3
13	東京都	3,840.0		3,840.0		
14	神奈川県	1,669.2		373.1		
15	新潟県	340.8	10.1	98.9		
16	富山県	203.9		45.5		
17	石川県	158.5	5.0	48.4		
18	福井県	117.1	3.5	33.6		6
19	山梨県	103.2	12.5	39.6		
20	長野県	312.3	9.2	89.8		16
21	岐阜県	302.4		86.6		
22	静岡県	705.6		156.9		
23	愛知県	1,098.4		303.9		
24	三重県	276.0		37.7		
25	滋賀県	182.4	17.7	58.4		
26	京都府	436.2		106.4		
27	大阪府	665.1	44.9	725.0		
28	兵庫県	1,040.6	23.2	158.6		
29	奈良県	167.6		78.1		
30	和歌山県	142.0	4.4	42.6		7.5
31	鳥取県	103.5		24.6		
32	島根県	96.9	3.1	29.8		5.3
33	岡山県	283.2	8.4	80.8		14.4
34	広島県	420.0		120.0		
35	山口県	270.3	6.2	60.5		
36	徳島県	113.6	4.6	17.0		7.1

No.	都道府県名	タミフル (カプセル)	タミフル ドライシロップ	リレンザ	イナビル	ラピアクタ
37	香川県	185.5		42.1		
38	愛媛県	267.2	6.2	60.3		
39	高知県	109.1	3.5	28.6		
40	福岡県	707.6		211.3		38.1
41	佐賀県	156.0	46.7	44.0		
42	長崎県	268.0	6.1	59.9		
43	熊本県	260.4		76.3		
44	大分県	152.0	5.1	50.1		8.9
45	宮崎県	210.9		47.9		
46	鹿児島県	200.2	7.3	12.0		
47	沖縄県	260.8		59.5		
	計	21,788	277	8,779	0	159

合 計 約 31,003 千人分

注1) 各都道府県における抗インフルエンザウイルス薬の備蓄は、各都道府県と製造販売業者との契約に基づき、計画的に納入される予定である。

注2) 上記都道府県備蓄分の不足が見込まれる場合には、都道府県からの要請に基づき、国の備蓄分を放出することとしている。

(10月末時点)

- * 1 各都道府県が備蓄しているタミフルカプセル、タミフルドライシロップ（オセルタミビルリン酸塩）、リレンザ（ザナミビル）、イナビル（ラニナビル）及びラピアクタ（ペラミビル）それぞれの備蓄量（人数分）を掲載している。
- * 2 抗インフルエンザウイルス薬の製造販売業者と各都道府県との契約に基づき、備蓄用として平成28年10月末までに納品された抗インフルエンザウイルス薬の数量を計上している。
- * 3 県内に患者が発生した場合に備え、各都道府県が保健所等に配置換えをした抗インフルエンザウイルス薬の数量を含んでおり、数量は千人単位としている。